

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	夜間帯の災害時における安全な避難と誘導を確認する。	誘導から避難場所への導線において、災害発生箇所に応じた安全かつ迅速な対応を全職員が、出来る様にする。また、ホーム近隣の地域の方々の協力を仰ぎ、自ホームのより一層の災害対策強化作りを目指す。	想定される、災害発生箇所に応じた避難経路を事前に書面にて図解し、 (玄関内、他数力所に貼り付け) 全職員に周知、徹底を図ると共に、運営推進会議を通し、近隣住民への協力を仰ぐ。	4～5ヶ月
2	〃	〃	〃	自ホームの見取り図を近隣住民へ配布並びに説明を行い、緊急時即対応頂けるようにする。	6～7ヶ月
3	〃	〃	〃	日勤帯の災害発生時及び、夜間帯の災害発生時共に同一避難箇所とする事により、統一した体制を擁立して行く。	8～9ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。